

基本プラスアルファ部分の 移換現価率変更について(厚年)

対象先

DB年金

厚年基金

適格年金

退職金

その他

内容

法令通知

財政運営

資産運用

会計基準

その他

ご参考にDB年金のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

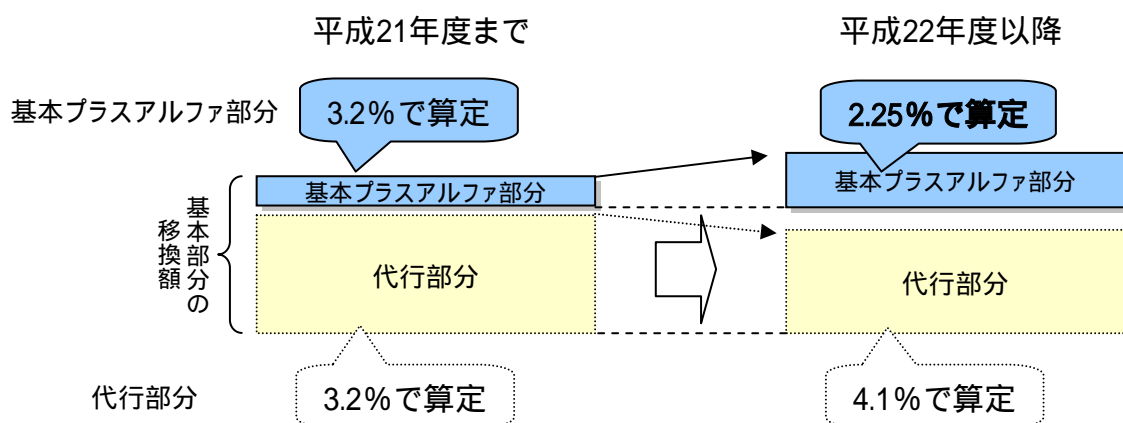
標記の予定利率について平成22年度以降2.25% (現在3.2%) が適用されることが確認できましたのでご案内致します。

当該率は連合会規約に定められており平成21年度までは経過措置として予定利率3.2%が用いられておりましたが、経過措置が延長されず本則が適用されることによるものです。

なお、代行部分については告示により平成22年度以降予定利率4.1% (現在3.2%) が適用されます。(👉ニュースNo.193)

移換現価率変更の影響

- ✓ 基本部分の連合会への資産移換額は、「代行部分の年金額 × 移換現価率 + 基本プラスアルファ部分の年金額 × 移換現価率」で求められる。
- ✓ 移換現価率は既に告示で4.1% (現在は3.2%) と示されており、予定利率・死亡率の見直しにより代行部分の移換額は減少する。
- ✓ 移換現価率は連合会が規約に定める (現在は3.2%) が、予定利率の見直しにより基本プラスアルファ部分の移換額は増加する。



以上



三菱UFJ信託銀行